



第2回きらら委員会(コミュニティスクール運営協議会)が開催されました。

7月11日(火)、第2回きらら推進委員会(コミュニティスクール運営協議会)が開催されました。この会議は、学校教育目標『自分の考えをしっかりと持ち、最後までやりぬく子』を達成するため、学校が行っているさまざまな教育活動について、地域の代表の皆様からご意見をいただき、学校運営にいかしていくための場となります。きらら推進委員の皆様にお集まりいただき、校長から、1学期の行事を中心に、子どもたちの日常生活の様子について、紹介させていただくとともに、日頃の教育活動について、お気づきの点を討議していただきました。

討議の中では、11日(火)に行われた「交通安全あいさつ運動キャンペーン」での子どもたちの登校の様子について、ご意見をいただきました。「6年生が早く歩いてしまって下級生がついていけない」「上級生の間に1年生をはさんで歩けていない登校班がある」「下校時は特にひどく、集団がバラバラになっていて心配である」等のご意見をいただきました。19日(水)に、町別児童会がありますので、その場を使って、子どもたちには振り返りをさせたいと考えています。



「きらら推進委員会」に先立ち、市教委教育総務課の職員の方々に来ていただき、「第1回水沢小学校のみらいを考える会」が開催されました。きらら推進委員の皆さんに加え、水沢地区の未就学児の保護者代表2名、学識アドバイザーとして三重大学教育学部教授1名にも入っていただき、今後の水沢小学校のあり方や方向性について活発な意見交流が行われました。

水泳授業が終了しました。

6月13日(火)から始まった約1ヶ月の水泳授業ですが、18日(火)3・6年生の着衣水泳を残し、11日(火)をもってすべて終了しました。今年度は天候にも



恵まれ、どの学年も6～7回の水泳授業となりました。低・中学年は、足をバタバタさせたり、隣の人に水をかけたりしながら水に慣れた上でプールに入り、その後肩まで水に浸かったり、顔を水につけたり、水の中を何度も歩いたりしていました。中学年は、最初の頃より泳ぎが上達し、ビート板を使ってきれいな泳ぎができるようになりました。高学年は、ビート板を使い、体をまっすぐに伸ばして、水に浮く練習やプールの短い方の距離を泳ぐことを繰り返していました。最後の方には、しっかりと息継ぎをし、25mをきれいなフォームで何度も繰り返し泳いでいる子どもたちがありました。あっという間に過ぎた水泳の時間でしたが、水の感触を体験でき、子どもたちが楽しめたことは本当に良かったと思います。

保護者の皆様には、水泳授業時の水着やタオルの準備など、本当にありがとうございました。今年度、大きな事故もなく水泳授業を終えることができ、感謝しています。

教職員の働き方改革について

三重県教育ビジョンには「教職員の働きやすい環境づくり」が掲げられ、子どもたちと向き合う時間を確保し、心身にわたる健康維持を図ることにより、教育活動に意欲的に取り組めるよう、すべての公立学校で統一した取組が進められています。本校では、夏季休業中、以下のように、働き方改革と結びつけた取組を行います。ご理解、ご協力をお願いします。

・基本的に17時以降のお電話(土日・祝日は終日)には対応できませんので、ご了承ください。朝も電話がつかがるのは、8時30分以降となっています。

※電話(オートメッセージ)には、対応できない旨のアナウンスが流れます。

・学校休校日の設定(下記の期間は、学校に教職員が不在です。四日市市全体の取組です)

8月10日(木)～16日(水)

上記期間中に含まれる祝日、休日及び週休日も「学校閉校日」となります。

(文責 北住 昌文)

